



2025

業界・組合リーダーの 年頭所感

新年を迎え、業界並びに中小企業組合のリーダーの皆様にも、業界の現状、新年の展望等についてご寄稿いただきました。

— 順不同・敬称略 —

赤帽群馬県軽自動車運送協同組合

理事長 赤 間 美代子

新年あけましておめでとうございます。

軽貨物運送事業におきましては、インボイス事業者への転換やフリーランス法、安全対策強化などの法改正問題とコンプライアンス遵守がより一層厳しい状況となっています。

2024年の日本経済は、内需成長が続く一方で輸出の伸びは、アメリカ、中国の経済減速影響を受け、貿易が減少、少子高齢化や人手不足は引き続き構造的な問題として残り、デジタル化、脱炭素の取り組みが推進されています。私たち赤帽群馬県におきましては、一事業に関してのみ増収が見込まれましたが、他は厳しい状況でした。今年も組合員のスキルアップを図るための研修会や、講習会を実施し「まごころを運ぶ赤帽」として組合員一同力を合わせ邁進していく所存ですので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

太田機械金属工業協同組合

理事長 大 江 通 浩

新春を迎え謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は元旦から能登半島を襲った地震、また豪雨災害と被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。当地域の製造業における景況状況もコロナ禍前の水準には戻らず厳しい状況が続く一年となりました。環境に対する事業構造の変化と共にEV自動車などの生産シフトへの対応や安定した受注といった事が課題でもあります。原材料価

格は高騰を続ける中、賃金アップといった問題にも取り組む必要があり、取引先への価格転嫁や雇用人材の不足といった点からも中小企業においてもDX化を進めることがより重要性を増すところでもあります。

我々中小企業にとりましては英断的経営努力で生産性の向上、また企業価値を上げ地域経済の活性化に努めていかなければならないと考えます。組合企業間の連携を強化に2025年も組合員一丸となって全力で取り組んで行く所存です。関係支援機関の皆様のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

桐生織物協同組合

理事長 周 東 通 人

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は物価高騰や世界情勢の不安定化など、厳しい経済状況下におきましても、桐生織産地では多様な販路開拓の試みなど、新たな動きが見られるようになってきました。しかしながら依然として、生産技術の継承や、新たな需要創出に向けた取り組みなど、多くの課題も残されています。

このような中で迎えた本年ですが、私たち繊維メーカーとしましては、サステナビリティへの配慮など責任あるものづくりとともに、積極的な情報発信など地域ブランディングの取り組みを進めていくことで産地の活性化を図り、桐生織が多くの皆様に新たな価値をご提供できるよう力を尽くしていきたいと考えております。



関係各位のご指導ご協力のもと組合員一同、力を合わせて桐生織産地の活性化に向けて鋭意努力いたして参ります。皆様方の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

ぐんま共済協同組合

理事長 広瀬博之

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、ぐんま共済は合併後10年を迎えることができました。この間、社会や経済の情勢は目まぐるしく変化し、先を見通すことが困難な時代になってきております。度重なる災害やパンデミックなど思わぬ災害に遭遇する危険が高まる現代ではありますが、このような中でも、ぐんま共済は、中小企業者の万を守り続けていかなければなりません。近年恒常化している大規模自然災害や、首都直下型地震や南海トラフ地震の発生の可能性を踏まえ、適切・迅速な共済金のお支払いに向けた対応について、より一層の工夫と不断的努力が必要と考えております。「安心と安全」が人々の生活や新たな一步を支える力になるという信念の下、共済事業という社会インフラの一翼を担う誇りを持ちながら全力で諸課題に取り組んでまいり所存でありますので、何卒、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

群馬県印刷工業組合

理事長 石川靖

新年あけましておめでとうございます。

コロナウイルスの騒ぎも一段落、世の中は経済的には正常な状態に戻りました。しかし政治的には世界はだいぶ不安定なまま時が過ぎたという感じの一年でした。

今年はどんな年になるのか。

全く予想もつかず、資材価格の高騰や用紙の値上げなどが無いことを願っています。

また労働力不足は大変深刻な問題で、今後どうなるかが心配です。

そんな中、昨年は少し組合員の数が増え、みんなで一緒に何かをやろう、という風潮に業界が変

化しつつあるように感じます。近くに早く行きたい時はひとりで行く方が効率的ですが、遠くに確実に進みたい時はみんなで行く方が良いのではないのでしょうか。そういった意味でも今は遠くを見据えて、一步一步着実に向かう時代なのかもしれません。今年はそんなことを意識して着実に前進することに努めたいと思います。

協同組合群馬県機械設備工業会

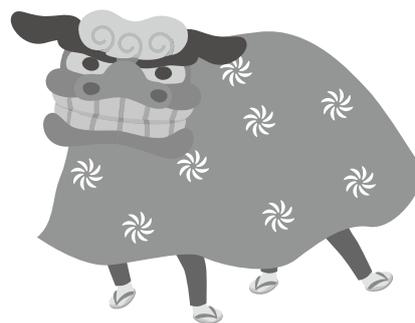
理事長 和田弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年、当組合では群馬県企業局からのご依頼に基づき、元旦に発生した能登半島地震の水道復旧に尽力し、ライフライン再建に貢献。また、熱中症対策で全県下一斉に県立高校の冷房設置工事を実施し、改めて機械設備工事業界の社会的使命を再認識した一年となりました。

一方、人手不足や資材高騰などがさらに深刻化。現状認識や現場調査が不適切な案件を中心に、工期や設計の根本的変更・工事金額の大幅増額・受注業者がないなどの事象が発生しました。それも群馬県内だけでなく、全国各地で散見された年ともなりました。

申し上げるまでもなく、給水・排水・浄水・冷暖房・冷凍設備など、私たちの手掛ける仕事は目に留まりづらいですが、地域に暮らす方々の安全で安心な生活を支え維持する事業です。しかし今、その大切な役目を果たしたくても果たせない状況が広がっています。

当組合は本年も、このような社会的課題の解決に他の業種の方たちと連携しながら邁進してまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻ご協力の程よろしくお願い申し上げます。





群馬県建設事業協同組合

理事長 青 柳 剛

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より当組合の事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の業界についてですが、1月の能登半島地震の他、時間外労働の罰則付き上限規制の適用や、第3次担い手3法の制定などがあり、新たな課題が浮き彫りになったと同時に、地球沸騰化による気候変動は全国各地で大きな爪痕を残しており、改めて「地域を守る建設業の役割」を見つめ直す機会となりました。

当組合としては4月にホームページを開設し、道路清掃やパトロールの他、保険業務や会館業務など、日々の活動を掲載しております。

引き続き時代の変化に迅速に対応しながら、本年も県管理道路の安全・安心に寄与出来るよう、日頃から道路パトロール及び道路清掃に尽力してまいりますので、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

結びに、建設業のさらなる発展と、皆様方のご多幸とご健勝をご祈念致しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

群馬県高圧容器整備協同組合

理事長 遠 藤 祐 司

明けましておめでとうございます。

当組合は、エルピーガスを扱う容器の再検査所です。国民生活に欠かせないエネルギーの一つとして、エルピーガスを扱う当組合検査所は、安全・安心対策を講じたうえでエルピーガスの安定供給の保安に努めて参りました。日本は、地震・台風・豪雨・水害・大雪等災害が多い国です。災害時にも自立稼働が可能な分散型供給による機動力を発揮し、環境にもやさしいクリーンエネルギーのエルピーガス。今後もエネルギー業界に貢献すべく意識を持ち、最善な設備を整え、社員のレジリエンス力を向上強化し、企業として、厳しい社会環境や市場の変化に対応していく所存です。

本年も皆様方のご支援並びに関係各位のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

理事長 町 田 憲 昭

「ブロックで安心、安全に暮らせる生活を」

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なるご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当組合では昨年SDGs「目標13気候変動に具体的な対策を」について提言して参りました。それに伴い、昨年組合は国土交通省が創設した近年激甚化・頻発化する水害から、国民の生命と暮らしを守るため治水対策に取り組む「流域治水オフィシャルサポーター制度」に申請し、ブロック塀による浸水防止策を提案してオフィシャルサポーターとして認定され、今年は引き続きこれを推進して参ります。

また昨年は創立70周年を迎え、記念式典を開催いたしました際には沢山の方々にご来賓頂き、皆様からお祝いの言葉を頂戴いたしました事に、改めて深く感謝申し上げます。

今後もコンクリートブロックやコンクリート製品が彩りのある豊かな生活を創造するアイテムとして使用され、循環型社会の構築に寄与することを目標に掲げ安心で安全な対策や新しい利用方法を提案して参ります。

本年も会員の皆様のご協力を得ながら、未来発展のため事業に邁進させて頂きたく、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

群馬県再生資源事業協同組合連合会

会長 吉 岡 努

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、日常生活においてはコロナ前の生活に戻りあらゆる部分において活況に満ちてきた一年であったと思います。観光業や飲食業をはじめとするサービス業の回復は目を見張るものがあり日本経済も回復傾向となったのではないかと考えます。反面円安における物価上昇や金利の上昇など一般消費者においては大変な一年であったのではないかと考えます。

令和7年は、再生資源業界においては、発生量の低下それに伴う競争激化と厳しい産業活動が続くと思われませんが、環境という部分で見ると私達



の業界は必要不可欠であり、決してなくなることはない業界であると考えます。世の中が目まぐるしく変化中その変化に迅速かつ的確に対応し業界全体の底上げをしていきたいと考えます。

SDGsやカーボンニュートラル等環境関連ワードは我々業界にとって追い風であることは間違いなくその実現に向けて我々業界の需要も拡大傾向になると思われれます。いろいろな意味において環境保全における社会的意識は高まってきており我々業界の果たす役割もさらに大きなものになっていくことは確実であると考えます。

環境保全に寄与する産業としての誇りを持ち地域社会に貢献する企業・組合として活動していく所存でありますので皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県砕石工業組合

理事長 金子 光 宏

砕石の安定供給を目指して

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年、日銀がマイナス金利政策を17年ぶりに解除し、金利を引き上げました。経済対策の焦点は、物価高への対応と共に、高い賃上げをどう定着化させるかが当面の課題です。

しかし、当組合員を始めとする雇用の7割を占める中小企業は、賃上げの余力に乏しく、実現は容易ではないので、中小企業への有効な支援策も示してもらいたいと思います。

また、政界では石破政権が誕生するや、解散総選挙が行われ、政府与党の連立政権が過半数割れして敗退し、厳しい政権運営を迫られています。

国民本位の政治、政策の実現を切に望みたいと思います。

近年は、公共事業予算が伸び悩み、砕石出荷量も減少しています。砕石は、社会基盤整備には必要不可欠です。骨材の安定供給を維持するため、各地域の事業者の受注の機会を確保して安定経営が図れるよう、よろしくお願い致します。

今年も安全を第一に、砕石の安定供給を目指して、取り組んで行く所存です。

今年もよろしくお願い申し上げます。

群馬県柔道整復師協同組合

理事長 大 藤 忠 昭

新年明けましておめでとうございます。

群馬県柔道整復師協同組合では、2024年を振り返ると、様々な取り組みへの挑戦と成果がありました。ここ数年来続いてきた新型コロナウイルス蔓延も落ち着きを見せ、研修会や各種イベントを定期的に開催できたことは組合員の資質向上への一助となりました。また、毎年の利用分量配当も順調に充当できる見込みです。

2025年においては、物価高の影響で運営コストが増大し、それに伴う料金への転嫁により著しく不利益を被らないように、施術所が直面する課題を洗い出し、運営の助けとなる事業へ積極的に対応することで、組合員のための戦略や計画を実行していく所存です。

私たちの目標は、組合員にとってさらに価値あるサービスを提供し、共に発展を目指す賛助会員と持続的な成長と収益を実現することです。

本年も目的の本質を見失うことなく、皆様の変わらぬ支援と信頼に感謝し、一層の努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 今 川 守

あけましておめでとうございます。

昨年は「物価高騰」に悩まされた1年でした。本連合会傘下の各商店街では、なんとか消費喚起を図ろうと積極的にイベントを開催する動きが見られました。とりわけ、前橋市の中心商店街で2年ぶりに実施された「ブックフェス」や、桐生市の中心商店街で同日に開催された「和太鼓まつり」と「100円商店街」は大勢の人でにぎわい、大きな話題となりました。

その他にも、県内各地の商店街では、恒例の「えびす講市」をはじめ、工夫をこらしたイベントが数多く開催され、にぎわいを見せました。

また、昨年は、行政等による中心市街地再開発の動きに呼応する形で、空地の利活用や空き店舗のリノベーションに取り組む商店街も見られました。

本連合会といたしましても、商店街は「地域コ



コミュニティ」の担い手であるとの認識の下、傘下商店街のこうした前向きな努力を後押しすべく、本年も積極的に支援事業を展開して参る所存です。

関係各位の皆様におかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

一般社団法人 群馬県信用組合協会

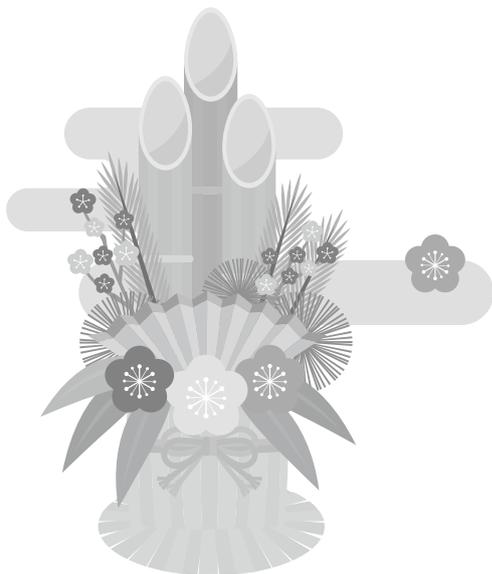
会長 八 高 武

新年あけましておめでとうございます。

群馬県内の経済情勢は、各種政策の効果もあって、景気の持ち直しが続くことが期待されていますが、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。中小・小規模事業者は厳しい状況に置かれています。

昨年11月に群馬知財総合支援窓口の運営を受託する群馬県発明協会と群馬県信用組合協会とあかぎ信用組合、群馬県信用組合および、ぐんまみらい信用組合の五者で包括連携協定を締結、知的財産に関する課題を抱える企業への支援制度の紹介などを協力し、地域経済の活性化に繋げていきます。

あかぎ信用組合、群馬県信用組合および、ぐんまみらい信用組合の3信用組合は、「地域貢献・地域密着」を強固に連携しお客様への幸せづくりに本気で取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願ひいたします。



群馬県製麺工業協同組合

理事長 星 野 陽 司

コロナ禍により大きく転換した新たな社会経済下で、中小企業・小規模事業者は、地域経済の中にあつて、事業継続のため創意工夫を重ね絶え間ない努力を続けていますが、オーバーストアの中で激化する量販店競争は、物価高騰に応じた適切な価格転嫁と数量確保を困難にし、収益力が低下する中で賃上げや人材不足への対応に迫られるなど経営の維持・継続に向けた余力を失いつつあります。

我々麺業界の主原料である小麦やそばの情勢は、依然高値で推移し、副資材、エネルギーコスト、物流費、労務費等は上昇傾向が続き、加えて食品安全衛生管理体制を確保するための取組み、物流問題への対応、適切な表示の推進や、人手不足による人材難、最低賃金引き上げ、働き方改革への対応、後継者問題など、多くの課題に直面しています。

また、原材料の調達面でも、気候や地政学的リスクが高まり、不確実性が増し大きな不安材料となっております。

特に、人口減少により国内市場が縮小する中、スーパー等量販店の出店攻勢は続き、店舗間競争は激しく、生産コストに見合う適切な価格改定が行えておりません。

さらに、大幅な円安の影響から多くの食品が値上がりし、直近では主食の米までも高騰するなど消費者は大きな負担を強いられていることから、依然消費者の低価格志向は根強く、購入数量の減少やより安い商品への移行が見られるなど、経験したことのない苦境に直面しております。

このような厳しい状況下に置かれておりますが、調理の多様性などから家庭内食が見直しされて来ている流れを大切にし、安全・安心な製品づくりを基に、地域に愛され、郷土食としてのめん食の楽しさ、面白さを提供して行きたいと思ひます。

本年も昨年に続き、ぐんまの郷土料理の「おっ切り込み」と「ひもかわうどん」を積極的に広め、地域食としての「めん」を通しての家庭づくりや人々のコミュニケーションづくりなど、生活者の食の豊かさと麺食文化の向上に努めてまいります。



群馬県税理士協同組合

理事長 酒 井 豊

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、心新たに輝かしい新春をおむかえになられた事とお喜び申し上げます。

昨年は、元旦早々に能登半島が大きな地震に見舞われ多くの家屋が倒壊し、多くの方々が被災し大変な事となりました。また、9月には同じ能登地方が記録的な豪雨に見舞われ、床上浸水・土砂災害などを引き起こし、復興途上のまちに大きな痛手をこうむりました。能登地方の被災者の皆様方の一日でも早い復興を心より祈念しております。

経済面では日銀が17年ぶりにゼロ金利政策を解除し、国内においては金利の上昇、国外においては円安を加速させる結果となりました。また、食料品などの物価上昇が昨年もとどまるところを知らず、経済は混乱状態でした。いろいろな出来事が起こりかなり厳しい一年となりました。

今年は災害も起きず、物価の上昇や金利の上昇が抑えられた良い年となる事を祈念し、そして皆様方にとっても良い年となる事を願っております。

本年もよろしく願いいたします。

群馬県石油協同組合

理事長 今 井 正太郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年10月に中央会様の後援を頂き、「カーボンニュートラル(CN)に向けた世界自動車産業とCN燃料最新動向」と題しセミナーを行いました。中でも「世界で15億台以上ある既販車のCO₂削減こそが最優先」と強調したうえで、合成燃料などのCN燃料は「エネルギー密度に優れ、何よりSS等既存インフラを活用できる点が最大の利点。ユーザーにもメリットがある。」等、印象的な講演会でした。将来どう生きるか？よりも、今どう生きるか？を考えがちでしたが、将来を優先に考える事の礎となりました。今年も有意義な講演会の企画を青年部が主体となって考えて参ります。

昨年は激変緩和措置により燃料油価格は抑えられていたものの、補助金の縮小により、燃料油価

格上昇が予想されております。

課題の多い我々石油業界ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

群馬県鐵構業協同組合

理事長 大 竹 良 明

新年、明けましておめでとうございます。

政府より2050年カーボンニュートラルの達成宣言が出ている中、鉄鋼業界はこれまでCO₂排出量が多い産業の一つとされ、「脱炭素化」が急務とされています。また、世界人口の増加や途上国の経済発展で鉄鋼需要は拡大するとされ、使用済みの鋼材をスクラップで回収し、再び鉄鋼製品にするリサイクル製品だけではその需要量を満たすことはできず、今世紀中は鉄鉱石の還元による製鉄が必要とされています。

鉄鋼製造プロセスの脱炭素化は、「高炉水素還元法」などが主たる方策ですが、この技術は2040年頃やっと商品化の目途が立つなど、開発・実装には時間とコストを要します。そこで、それまでの移行期は鉄鋼メーカーが自ら実行するCO₂削減プロジェクトによって生み出され、第三者認証された実際のCO₂排出削減量を任意の鉄鋼製品に配分するマスバランス方式を適用した「グリーンスチール」を脱炭素製品とした提供が始まっています。既に昨年、県内の建物において、マスバランス方式の「グリーンスチール」の採用が始まりました。今後も、可能な範囲でその採用を進めていく所存です。

群馬県電気工事工業組合

理事長 中 島 正 幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆さまにおかれましては、ご家族と共に健やかに新年をお迎えのことと存じます。平素は弊組合の事業運営に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私どもの業界においては、技術者の高齢化による離職に対して若年層の入職者はいまだに少ない状況が続いています。人材獲得のためには環境を整えて魅力ある職場づくりをしなければなりません。そのためには、自社の付加価値を高め、取引先に正当な対価を求めるとともに、働き方改



革が実施されていますので、是非とも適正な価格調整をお願いしていく必要があると思います。そして、電気工事の仕事に将来性を見出せるように課題を整理し、解決していくとともに、スケールメリットを最大限生かせるよう取り組んでいきたいと思っております。

結びに、皆さまにとりまして新しい年が明るく実りある年となりますよう祈念いたしまして、挨拶いたします。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 今 成 克 之

昨年はアメリカでドナルド・トランプ氏が2回目の大統領に決まり、国内では自公連立政権が過半数割れし、各地で紛争が多発するなど世界状況が不透明化しています。

運輸業界では2024問題として、運転手の時間外労働時間が上限制限されたことにより、特に長距離輸送への影響が大きく効率的に庸車を手配しながら、全線高速道路の利用・中継輸送・モーダルシフト等で輸送形態の変更を行うなど、問題解決に向けて様々な営業努力をしていますが、いまだに完全に解決するには至っていない状況であり、昨今の人手不足で運転手の確保にも大変苦慮している中、群馬県でも飲酒運転による悲惨な死亡事故が発生しており、安心・安全を担保する体制整備への対応が強く求められています。

そんな中、当組合は組合員の安定経営に寄与するため、各共同事業を積極的に進め、組合員のための組合づくりに取り組んでまいります。

今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。



群馬県生コンクリート工業組合

理事長 諸 角 富美男

明けましておめでとうございます。

昨年も、ウクライナ、中東情勢をはじめ、2024年問題に伴い、原材料、物流費や労務費などのコスト上昇により、我々製造業者にとっては大変厳しい年になりました。

こうした中、生コンクリート工業組合におきましては、これまでどおり安定的な出荷を行い、建設資材産業としての使命をしっかりと果たして参りました。本年も品質管理を徹底し安定供給に努めて参ります。

また、重点課題であります人材確保について、昨年はプロジェクトチームを立ち上げ、従業員アンケートの実施や高校生と連携した業界PR用動画制作など、関係団体等と連携協力して取り組みました。今年は、従業員アンケートを踏まえた取り組みをはじめ更なるPR活動を検討・実施して参ります。

どうか皆様には本年も変わらないご指導、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げて年頭のご挨拶いたします。

群馬県バス事業協同組合

理事長 高 橋 良 彰

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

当組合は、本年で設立28年目を迎えます。爾来、高速道路通行料金後納事業、燃料の共同購買事業、そして平成26年度から旅客輸送共同受注事業を開始し、群馬県や各自治体等が主催する種々のイベント関連の輸送事業を実施しています(ニューイヤー駅伝・群馬マラソン・児童生徒の音楽教室等)。このほか、昨年は、能登半島地震緊急援助隊の輸送事業にも参画いたしました。

バス業界では、ウイズコロナによる需要の回復を期待していましたが、個人旅行の定着をはじめ、ドライバー不足、燃料価格の高騰などにより、経営は厳しい情勢で推移しています。こうした中ではありますが、当組合は、大量のバス輸送の受注要請があった場合でも、会員事業者が一致団結



して需要に応じています。今後とも格段のご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

群馬県板金工業組合

理事長 中村 光 一

新年、明けましておめでとうございます。

昨年はかつてない円安が続き、多くの建築資材を輸入に頼っている日本では影響が未だ大きく、建築板金業界は材料価格の高止まりが継続し価格転嫁に苦慮している状況です。

また、働き方改革関連法がスタートし、労働時間の上限規制や有給休暇取得などにより一人の職人がこなせる作業量が減少している中、板金技術者の高齢化や、若者離れが進み深刻な労働力不足がさらに露呈するものと考えられます。

こうした厳しい状況のなかでは、労働環境を整え、社会保険等福利厚生を整備することはとても重要です。まずは労働者が経済的に安定して仕事に打ち込める環境を整え、業務の効率化に向けた取り組みを行ってゆくことが人材不足の大きな対策の一つとなると思います。

このような様々な業界の課題を実感しつつ、当組合としては若者に対しての建築板金技術の魅力伝える啓蒙活動や、技術者の育成・経験者の定着に向けた提案を行い、組合員への直結した事業の構築や、組織の団結等を今年も展開してゆきたいと思っております。

本年も皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

群馬県美容業生活衛生同業組合

理事長 町田 仁 一

あけましておめでとうございます。中央会及び関係各位の皆様にとりまして輝かしい一年となりますよう謹んでお祈り申し上げます。

美容組合に限らず、各組合の大きな目標の一つに「経営の健全化」が掲げられていると思います。これは、組合加入者だけの経営の健全化を図る事ではなく、その業界全体の店舗、会社が安心して経営できる環境を作り、そして、その環境を守る事です。つまり組合とは、常にその業界全体の事

を考えています。

更に、消費者保護の観点からも、衛生管理を徹底し、消費者の安心と安全を担保することを最優先課題とし、美容業界全体の発展のために活動しています。その上で、消費者の満足度を上げ、個々のサロンの利益につながるような事業展開を目指しています。

新年が、中央会の各団体の皆様と一緒に成長できるような一年となりますよう祈念しまして年頭の挨拶と致します。今年もよろしくお願い致します。

群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 塚田 且美

“適正な価格転嫁に向けて、続く厳しい現実”

謹賀新年 新しい年を迎え皆様には清々しい新春と存じます。

昨年は我が業界は、最低賃金の大幅な上昇などに対し、対応できない問題を突きつけられ誠に厳しい年でした。この課題は本年も引きずり、解決に向けて進まねばなりません。

我が業界は労務費率が高く、合わせて国も価格転嫁が進んでいない業種に対し(ビルメンテナンス業を含めて6業種が進んでいないと断定)物価上昇、最低賃金の上昇等を乗り越え構造的な賃上げを実現するために、賃上げの原資を確保し、適正価格契約に向けて、価格転嫁交渉をすすめる具体的な自主行動計画の策定等を行うように要請がありました。そして発注者側の対応、受注側の対応の自主計画表を作成し、価格転嫁交渉を行いました。その成果は、未だ中途であります。継続して取り組んでまいらなければならないと思っています。

本年もこの課題を解決しなければ、本年10月に大幅な最低賃金の上昇が予測される中、全く対応できない厳しいものとなると思えます。

業界全体でなんとか対応し、この一年を乗り越えたいと思っております。一層のご支援をお願い致します。





群馬県不動産事業協同組合

理事長 木 暮 伸 樹

新年あけましておめでとうございます。

昨今の我が国では、空き家や空き地、マンションの空き室(以下、空き家等)の急増への対応が喫緊の課題となる一方、二地域居住などの新たな働き方・住まい方へニーズが高まっています。国土交通省では、「使える」空き家等は、早期に有効な利活用を図ることが効果的と考えており、官民を挙げて強力に推進するため、昨年6月に「不動産業による空き家対策推進プログラム」を策定しました。このプログラムにより、空き家等の利活用が進むことを期待しております。

将来的にはより専門的な空き家等の相談体制の構築や、空き家等の管理・コンサルティングサービスなど、媒介業務に止まらないサービスの提供も期待されております。

末筆になりますが、皆様のますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県鍍金工業組合

理事長 藤 間 一 夫

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

弊組合は現在42社で構成していますが、30年前の平成6年は76社ありましたので、毎年1社強が退会している事になります。全国的に見ても減少傾向は同じで、組合に所属しないアウトサイダーを取り込む事が課題です。その為、組合に所属するメリットを示す事が大切です。行政同行による排水処理場への自主巡回指導は長年続けている独自の活動であり、各方面から高い評価を得ています。排水基準等の環境規制の変更や価格転嫁に関する情報等を組合員に、いち早く展開する事も重要な役割です。

鍍金組合は全国連合会を組織しており、1,000社あまりの同業者とのネットワークがあります。令和6年度に全国青年部会を立上げ、若手経営者が情報交換し切磋琢磨しています。次代を担う若者が交流する事で活路を見出してくれるものと期待しております。

群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合

理事長 森 田 繁

新年あけましておめでとうございます。

群馬県では、「温泉文化」の無形文化遺産登録に向けた取組を進めています。

群馬県から始まったこの取組は、今や全国を巻き込んだ動きとなっています。

登録に向けては、国会議員による「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録推進議員連盟及び知事の会が立ち上がり、民間レベルでは、「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産全国推進協議会が設立され、国民運動への機運醸成、温泉地等現場に於ける盛り上がりの強化を図っており、具体的には、100万筆の署名活動を全国各地で展開中であります。温泉に関わる宿泊業や観光業は、産業の裾野が広く登録が実現すれば、地域経済の活性化への効果は絶大と見込まれ、国益にも叶うものであります。県民の皆様にもこの取組みにご理解頂き、2028年のユネスコ無形文化遺産登録実現に向け力強い後押しをお願い申し上げます。

高崎卸商社街協同組合

理事長 杉 浦 幸 男

新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年はコロナ禍も沈静化し、ようやく平穏で落ち着いた1年を、と展望する矢先、能登地震や羽田の航空機事故が発生するなど、惨憺たる幕開けとなりました。震災には豪雨が追い打ちをかけ、被災者の方々を思うと言葉もありません。一刻も早い復旧が急がれる中、裏金問題を発端として解散総選挙が行われ、不安定な与党が誕生しています。

一方、海外では、中東やウクライナの戦禍が続き、アメリカでは自国第一主義を掲げる大統領が返り咲くこととなりました。

こうした激動の環境の中、幸いにも当組合の事業は堅調に推移することができました。共同施設の稼働はコロナ前を上回り、販促イベントの上州どっと楽市や大感謝祭はもちろん、ビアパーティやディズニーツアー、ハイキング等の福利厚生事業も従前に増して賑やかに開催できました。

また、懸念されていた問屋町センター第2ビル



のトイレや水回りの大改修にも着手できました。春には完工予定で、アメニティの向上が図られます。

本年は「乙巳(きのとみ)」。再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく様を表していると言います。努力を重ね、物事を安定させていくという故事を信じて、公平・公正かつ品格あるべきことを肝に銘じながら、組合の発展・成長に尽力する所存です。

関係各位のご発展をご祈念申し上げるとともに変わらぬご支援をお願い申し上げます。

前橋機械金属工業協同組合

理事長 宇井 正典

令和7年、謹んで初春のお喜びを申し上げます。

昨年度は日経平均株価も4万円を超える等、まさしく辰巳天井のど真ん中におります。しかしながら、実体経済とは程遠く、一部の投資家のマネーゲームの様相を呈しております。またモノづくりの世界では、日本の国力(技術力)がどんどん落ちてきていることを目の当たりにしました。昨年1月の羽田空港での、勘違いで滑走路に侵入した自衛隊機に旅客機が突込んだ事故。驚くことには物理的な侵入防止板が無く、フェイルセーフ的な発想が全くない事実であります。離着陸数も少ない片田舎の空港であればいざ知らず、日本のハブ空港である羽田。大勢の人の命を預かる空港がこの有様。また、秋には東北新幹線が時速350kmで連結器が外れハヤブサとこまちが分離して停車。時速350kmといえば旅客機が離陸するより速い速度、万が一列車が浮き上がったら？ぞっとする出来事。原因はスイッチ内の鉄片だったとか？こんなモノづくりでいいのでしょうか？当組合では世代交代も進み新しい試みも始まっております。

厳しい環境下ですが、皆様にとって本年度がより良い1年になります様、お祈り申し上げます。

協同組合前橋問屋センター

理事長 都丸 和俊

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は33年ぶりとなる高水準の賃上げが実施されたものの、円安等に伴う物価の上昇の影響を

受けるなど、日本経済は依然足踏みを続けていると言われております。

我々卸売業界においても、社会構造は大きく変化し人口減少・少子高齢化で消費者の行動も変わり、さらには賃金や物価の上昇、原材料などのコスト増加、高齢化や事業承継問題などの課題が山積しております。

このような時にこそ、組合員の創意と工夫によって、多くの皆様から必要とされる卸売業でなければならないと考えております。

当組合の施設であります「前橋問屋センター会館」は、皆様のビジネス空間として幅広い活用が可能であり、飲食を伴う会議や講習会・研修会、販売促進のための展示会など、幅広くご利用いただけます。

皆様のご利用を心からお待ちするとともに、今年一年が皆様にとりまして最良の年になりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

